

内定者インタビュー⑤ 地方銀行内定

2017/03/15

就職活動を乗り越え、この春社会人として旅立つ4年生に就職活動を振り返ってもらいました。

第5回目は**地方銀行**に内定した総合経営学部商学科 **石田悠里子**さんです。



興味のなかった業界が第一志望に

最初はホテルでのアルバイト経験から「人の幸せな顔を見ることができると仕事がしたい」と思うようになり、漠然とブライダル業界に進みたいと考えていました。

金融業界に対する興味はほとんどありませんでしたが、ある合同企業セミナーでたまたま銀行の説明を聞くことになり、その時に「銀行は人に幸せを与えることができる仕事」だということを教えてもらいました。

そんな視点を全く持っていなかったのが驚きましたが、説明を聞くにつれて、銀行でなら自分のやりたいことができるのではないかと思うようになりました。

ブライダルの場合は結婚式を挙げる時にしか携わることができませんが、銀行であれば扱うものが「お金」であるため、あらゆる場面で人の幸せを叶えることができます。

他のどんな仕事よりも多くの人の幸せを実現できる仕事だということに気が付き、志望業界を銀行に変更しました。

「銀行員らしくない」銀行員になりたい

Uターン就職をするかどうかはとても悩みました。

最初は大阪で就職しようと考えていたのですが、実は「自分の子供を母校の高校に通わせたい」という夢があって。

高校がとても楽しくて、自分の子供にもそのような楽しい学生生活を送らせてあげたいとずっと思っていました。

また、大学で大阪に来てから地元である香川県の人の温かさに気付き、この場所に貢献したいと思っていたこともあり、香川県で働くことを決めました。

内定先に就職を決めた理由は「挑戦する」という社風を持っていたからです。

私自身もアルバイトや留学など様々なことに挑戦することが好きで、社風に共感することができました。

また、座談会で行員さんが自身のことを「銀行員らしくない銀行員だ」と話しているのを聞いて。

私自身も堅いイメージの銀行員ではなく、香川県のいいところである「親しみやすさ」を持った、良い意味で「銀行員らしくない」銀行員になりたいと思っていたので、ここなら自分のやりたい銀行員になれると思い入行を決めました。

色々な人に頼られる、相手の心を温めることのできる銀行員になるために、資格取得など様々なことにチャレンジしたいと思っています。



一人でやりきったセブ島でのボランティア体験

大学で印象に残っている経験は、セブ島で暮らす日本人の子ども達の通訳を行う1カ月間のボランティアです。

ボランティアは私一人で、英語もそんなに話せるわけではなかったため、最初はとても不安でした。

滞在中は殆ど一人で子ども達の生活をサポートしたり、急に熱を出した子どもを病院まで連れて行ったりなど大変なことはたくさんありましたが、わからない単語を調べて、頑張っで通訳を行うことで何とか乗り越えることができました。

私は「すぐに人に頼ってしまうこと」がずっと短所だと感じていて、それを直したいと思ったことが今回のボランティアに参加したきっかけでもありました。

セブ島での生活は自分で調べて行動しないと何も進まない環境であったため、一人で考えて解決する力を身につけることができました。

自分の中で短所を克服できた非常に大きな経験となったので、挑戦して本当に良かったと思っています。

早期のキャリアサポート室利用が内定への近道

私は「夏までに絶対に就活を終わらせる」という強い気持ちを持っていたため、逆算しながら就職活動のスケジュールを立てていました。

まだ周りが準備をしていなかった2月中にキャリアサポート室に通い、履歴書の添削と面接練習を繰り返し行っておいたことで、きちんと準備した上で就職活動を迎えることができました。

特に模擬面接では様々な切り口で質問され、それに対して答える練習を積み重ねた結果、本番では落ち着いて答えることができるようになりました。

また、アドバイザースタッフの先輩が定期的にグループディスカッション講座を開催してくださっていたおかげで、選考前に対策することができました。先輩には就職活動の相談にたくさん乗ってもらって、とて

も感謝しています。

時間が足りなかったのは筆記試験です。就活が始まってからでも間に合うと思いあまり勉強しなかったのですが、就活が始まったらエントリーシートを書いたり面接練習をしたりと、勉強する時間が想像以上に取れませんでした。

1カ月ぐらいきちんと勉強する時間を取ればよかったと後悔しました。

これから就職活動を始めの方は、周りのペースに流されず、目標を決めてできるだけ早く行動していくことをお奨めします。

キャリアサポート室を早期から利用することが内定の近道になると思うので、どんどん利用してみてください。

